

もうキミは、立派な可愛い女の子

～メイドのお姉さんから強制女体化させられ、汚されちゃったボク～

第1章　秘密の地下室にて

【マリー】

おはよう、お目覚め？

お坊ちやま、やつと気がついたみたいね。

ベッドに寝たまま、目をきょろきょろさせて…

今、自分がどういう状況に置かれているのか、まだ理解が追いついていないようね。

ふふ、動かない方が身のためよ。

動くと、キミの手足を縛っている鎖が、綺麗な肌に食い込んでしまうわ

そう、キミは今、手足を縛られて、私の前に無様な姿を晒しているの。

生まれたときから何の不自由もなく、

裕福に育ったキミが、こうやって手足を縛られて、体の自由を奪われるなんて、自分でも想像しなかったでしょ？

ふふ。これから、キミの体にもつとたくさんの中めてを教えてあげる。楽しみにしていなさい。

【マリー】

…ところで、私のことは知っているわよね。

キミの世話を勤めているメイドの、マリーよ。

毎日顔をあわせているから、当然よね。

…それにしても。座りこんで、近くで見てみると
キミ、女の子みたいね。

まだ幼い顔だけど…今日はキミのお誕生日。また一つ、年を重ねたのよ。

ふふ…キミが主役のパーティ、楽しかった？

途中から急に瞼が重くなつて…そこからは覚えていないでしよう？

キミは私の仕込んだ、睡眠薬入りのジ ュースを飲んで、
ぐつすり眠ってしまったの。

そして。

私の手で、この地下室に連れて来られたのよ。

あら、お屋敷にこんな部屋があるなんて、知らなかつた？

ここは昔、旦那様、つまりキミのお父様も使つていた、秘密の地下室よ。

今は旦那様も、たいそうな身分で忙しいのか、

この部屋のことを忘れているかもしねないけど。

以前はここで、使用人をお仕置きしたり、犯したりとやりたい放題だつたの。

私も随分な目にあわされたわ…。

だから今日は、キミがひどい目に遭う番。その為にずっと目を付けていたのよ。

綺麗な肌に、華奢な体つき、瞳もふぶらで、大きいし。
女の子にしたら、どんなに可愛いんでしょう、ってね。

…そうね、キミは男の子なのに、

女の子になるわけなんて、ないとと思うのが普通よね。

—でも、世の中には男を女に変える、魔法の薬があるのよ。

ほら、私を見てみなさい。

洋服ごしにでも分かるほどの
大きく張った乳房に、真っ白な肌

お尻だって、むつちりと大きくて、
いやらしいわよね。

スカートを少しまぐりあげれば、
艶めかしい太ももが、どんな男でも虜にしてしまう。

思わず奮いつきたくなるようなこの姿勢は、
どう見ても女のものでしょ？

でもね、私はもともとキミと同じ性別、男だったのよ。
…ただ、完全な女ではないの。

ほら、見てござんなさい。

私のスカートを突きあげている立派な男の証を。

どう、分かるかしら。

スカートごしにでも目立つてしまふ、この逞しいおちんちん。
キミも女の子に変えて、この私のペニスで、
いっぱい可愛がってあげるわね。

ふふ…そんなに震えちゃって、私が怖いの？

…大丈夫よ、いきなり犯したりなんてしないわ。

まずは、キスから、経験してみる？

この、色っぽい唇の…蕩けるような感触
味わってみたいと思わない？

思うでしょう？

だって…私が近づいたら、唇に、目が釘付けになつてゐる

ほら…視線、離せないでしよう？

このまま、どんどん近く…甘い吐息まで感じられる距離になつて…

……ん、ちゅっ

まずは、頬つべたから

どう？ 私の唇…柔らかかった？

こんな美女とキスできるなんて、幸せね…

ふふ、可愛いお顔、リンゴみたいに真っ赤ね
もう一度…してあげるわね

言つておくけど、逃げようとしてもダメ。

忘れたの？ 今のキミに、自由なんてないのよ。

私の唇から、逃れることはできない。

ほら、また顔が近づいて…熱い吐息が掛かる…

ふふ、私のものになりなさい。

キミの初めて、ファーストキスも、その先も…全部、奪つてあげるわ

んう…ちゅう、はあ…ちゅ、ちゅう、んう…

れろお…んちゅ、れろちゅ、ちゅれ、れるろお…

ん…はあ、私の唾液も、いっぱい流しこんであげる。

んちゅ、ちゅぱ、ちゅぱ、んふうう…れろお…。

ちゅぱあ…。ふふ…飲み込んだわね

今、私に口移しされて、喉の奥に入つていったのが、
女の子になつてしまふ魔法の薬よ。

しまつた、つて顔ね。

でも、もう遅いわ。

これからキミの体は、少しずつ女の子に変わっていくの。
もう、誰にも止められないのよ

諦めて、女の子になっていく自分の姿を、受け入れることね…んふふツ

●第一章 目隠しリップサービス

【マリー】

どうかしら、薬の効き目は。

だんだんと体が熱くなってきたでしよう？

キミの細胞ひとつひとつが、女の子になる準備を進めているのよ。

この手も、足も、まだ平らな胸や、肉付きの薄いお尻…
そして——おちんちんもね。

勃起して、男を主張しているように見えるけど、
最後のあがきをしているのよ。

男子として、最後の勃起を、存分に楽しみなさい。

ん？ 信じられない？

なら、その身体に直接教えてあげる…

こうして、内腿のあたりを撫でると……

今、ビクつてしまわね

肌のどの部分を触られても、

感じやすくなっているのが分かるかしら。
これも、性転換の薬が効いている証拠よ。

次は：そうね、目隠しをしてあげる

こうやつて、キミの目を布で覆つて、
頭の後ろで縛つてしまえば——。

もう真っ暗。

何も見えない分、他の感覚が敏感になるの

んふふ、お腹のところ、くすぐつたかつた？

目隠しをしたら、どこを触られるか、わからなくなつちやうわよね。

【マリー】

うーん… 次はどの部分を責めてあげようかしら。

あ
ちなみにおちんちん以外のどころよ

だから、キミのおちんちはお預け。

まずは

んう……れろお
そう 左耳かう、責めてあげる

ん……れる、れるう……はあ、耳の外側から、舌を這わせて、
れる、んちゅつ、れるるお……

んちゅ、れるろ、れる、ぴぢや、れるう……んう
ちゅれ、れるう……れる、ちゅ、ちゅばあ…
んんう……れるろ、れるろ、れるう……

穴の奥まで…ちゅぱあ、んれる、れるう…私の唾液が、沁み込むよう…

んちゅ、れるる、れるちゅ、ちゅれるお

れれるろ、れろちゅ、ちゅれろお… ヴはあ…んれる、れろお…

んんう
ふうへ

ふふ、息を掛けられるの、気持ち良かつた？

なら、次は少し強く、ふううううう～～～～つ。

んふふ、下半身をビクつかせて、そんなに耳がいいの？
あどけない顔のくせに、ド変態ね。

今から女の子になるのに、耳で感じちやうなんて…そんなにはしたなくて、いいのかしら？
ねえ、なんとか言いなさい。

ふーん、だんまりなのね。
じやあ……

んれろお……はあ、今度はこつちの耳よ

んちゅ、れるる、れる、ぴちや、れるう……んう
ちゅれ、れるう……れる、ちゅつ、ちゅぱあ…
んんう…れるる、れるる、れるう…耳の中まで舐めしやぶつて、犯してあげる
はあ…ん、ふう～～つ。

【 マリー 】

くすっ、耳を責められただけで、ガマン汁までお漏らしして、

情けないわねえ

でも、メスになる男の子なんてそんなものよ

どーを触られても快感を覚えてしまう、淫らな身体…

キミの全身が、メスになつてきている証拠よ

どうしようもなく淫乱で、すぐにお股を濡らしちやう…ビッチなメスにね。

次は…身体の変化が分かり易いとこ…女の子らしい部分を、責めちやおうかしら

い…とか。ん、れろお…ふふ

そう、左の乳首よ。

まずは根元から先っぽに向かって、舐めてあげる。

ちゅ、れる、れろろろつ。

ちゅ、れる、れろろろろつ。

あら、体が震てるわよ。

まだ男の子なのに、胸の先、敏感になつていてるわねえ…
れろ、れる、んちゅ、れろおおくつ。

あーあ、左の乳首だけ勃起してきたわね。ふっくり膨らんで…いやらしい形。

そのまま、ちゅぱちゅぱ吸つてあげる。

んちゅ、ちゅ、ちゅううううつ

ちゅばつ、ちゅぢゅつ、んちゅう…はあ

声も出しちやつて、はしたないわね。

もつと…感じさせてあげる。

んちゅ、ちゅば、ちゅれ、れるちゅつ、ん、ちゅぢゅうううつ

はあ…大きな声を出したかつたら、我慢しなくていいのよ

私しか聞いていないんだから、女の子みたいな声、出しちやいなさい

ほら…右の乳首も…

ちゅ、れる、れろろろつ。

れるちゅつ、んれ、れる、れろろろお

ん…ちゅつ、ちゅう、ちゅつ、ちゅぢゅう、んれる、れるろお…

はあ…よかつたじやない。左の乳首だけじやなくて
右の乳首も仲良く勃起してるわよ。

んちゅ、ちゅつ、れろちゅつ、んれる、れるる、れるう…。

はあ…乳首舐められて、気持ち良いでしょ？
もつと…舐めてほしい？

んー、どうしようかしら。そろそろ舐めるのも疲れてきたし…

ん？　どうしたの？

もしかして、乳首を舐められるの、気に入っちゃった？
へえ…男なのに、女の子みたいに、おっぱい責めて欲しいのね？

んふふ、良いわよ。

でもね、私からは何も言わないから、
キミから素直におねだりするのよ。

淫らなメスの男の子らしく、おちんちんを勃起させながら、
私の唇をはしたなく求めなさい。

キスで、乳首を、いっぱい、いじめてください、って。

さ、キミの口で言うのよ。

【マリー】

んふふふ、よく言えたわね、いい子よ。
もう心は立派な女の子ね。

ご褒美に右の乳首をもつと舐めて、吸つてあげる。

ちゅ、れろ、れろろおく。

んちゅ、れろ、んれる、れるろお…んれる、ぴちゃ、んれる、れろお…

はあ…乳首可愛がられて、すっかり蕩けた顔ね…

でも、忘れていないでしょ？

この快樂は、女の子のものなのよ

舌が触れるたび、胸の先っぽが、ぴりぴり痺れて…感じちやう

こんなふうに…ね、んれる、んちゅつ、れる、れるる、れるるう…

はあ…憶えておきなさい。これはね、復讐なのよ

【 マリー 】

キミのお父様に目を付けられて、

私は、不完全だった薬のせいで、こんな身体にされたの…

女らしい肉付きになつて、胸もお尻も膨らんだのに…おちんちんだけは、このまま

ほら、キミの乳首を味わつて、私のアソコ、勃起しているのよ…

んちゅ、ちゅつ、ちゅろ、れるちゅ…んちゅつ、ちゅろ、れるる、れるるう…
ちゅばつ、れるる、れるるう、んれる、ぴちや、んれるう…

はあ…おかしいでしよう？

いびつな私の身体は、キミのお父様に弄ばれ、おもちやにされて……

捨てられた。

だからね、こうしてキミにも、女の子の快樂を教えてあげるの…ん、れろろ、れるう…

はあ…んちゅつ、ちゅばつ、れるちゅつ、ちゅろお…はあ

【 マリー 】

理不尽だと思う？ そうね、でも恨むのなら、まず自分のお父様を恨みなさい

キミのために、新しいメイド…この私を雇つてしまつた、間抜けなあの男を…んふふ

んれる、れるる、れるう…ちゅ、れろ、れろろお…
んちゅ、れろ、んれる、れるるお…んれる、ぴちや、んれる、れろお…

はあ…最後は、右の乳首も…

んちゅ、ちゅ、れるる、んれる、ぴちや、んれろお…

はあ…乳首の感度は、もう充分のようね

【 マリー 】

今まで、おっぱいの先なんて意識もしていなかつたでしようけど…
これからは、乳首の快感が、頭から離れないとよ
少し擦れただけで、甲高い、女の声を上げちゃうかも…んふふ

…でも、まだ全然足りないわ

今度は…そうねえ、お尻とか、どうかしら

ん？ 意味が分からぬ？ お尻の穴っていうのはね、意外と気持ち良いのよ
おちんちんで奥の方を刺激されたり、搔き回されたりするとね…もっと、女の子の気持ち
が理解できると思うわ

【 マリー 】

そうね、それがいい

キミのお尻の処女を奪つて、メスイキの快楽を教えてあげる

後戻りなんてできないって、その身体で知りなさい

【 マリー 】

キミのお尻を責めるには、この鎖が邪魔ね

まあ、薬の影響で力は出ないし、仕方ないわね、拘束だけは解いてあげる
ただ、目隠しはつけたままで。

さあ、四つんばいになつて、お尻をこっちに向けなさい
…どうしたの？ 目隠しされていても、声が聞こえていれば、
私がどこに立っているのか、分かるわよね

見え透いた嘘なんてついても無駄よ。ほら、早くしなさい。

それとも、今からキミのお尻の処女を、無理やり奪つても良いのよ？

… そうよ、良くできました。

まるで犬みたいな恰好ね。とっても無様でお似合いよ。

ふふ、どうやら、まだ躊躇いが残っているようだけど、体は正直。
お尻の孔がひくついて、私のおちんちんを欲しがつているわね。
ここにぶつといものを突きこまれて、

めちゃくちゃにかき回されるのよ。

【 マリー 】

内臓が裏返りそうな感覺と一緒に、女の快樂が、
キミを天国に連れていくてくれるわ。

ほら、突きだされたお尻を、

こうやつてすくりすり、すくりすりと撫でるだけで、
感じて、お尻を震わせちゃうんでしょ。

左の尻たぶを

すくりすり、すくりすり。

すくりすり、すーりすり。

右の尻たぶを

すくりすり、すくりすり。
すくりすり、すーりすり。

んふふ、次はいよいよ、アナルを犯してあげる。

【 マリー 】

まずは人差し指を、ゆっくりと潜りこませて行くわよ。
第一関節、第二間接、どんどん入っていく。

んんんっ、最後までしっかりと飲みこんじやつたわね。
キミのお尻、私の指をはしたなく、くわえこんじやつて
どうしようもないわね。

そのまま指を出していくわよ、
ゆっくりと指先が抜けて、感じちゃうでしょ。

入れて、出して、入れて、出して。
入れたときの圧迫感と、出て行くときの開放感、
どちらもたまらないでしよう。

気持ちよかつたら、声を出していいのよ。
入れて、出して。
入れて、出して。

キミは、もうお尻で感じてしまう、
淫らな身体になってしまったのよ。

【 マリー 】

それに、体つきも、だんだん変わってきているわ。
目隠しでわからないでしようから、

私が撫でて、教えてあげる。

乳房も少しづつ膨らんできて、

私が揉んであげることもできる大きさよ。

ほら、まずは左の胸から感じなさい

乳首も立って、気持ち良くなつてきてるでしょ。

根元から先っぽへ搾るように揉んであげる。

ふふ、身を捩じらせて、気持ち良くなつていてるのね。

次は右の胸も揉んでいくわ。

同じように、根元から先っぽへ乳搾りでもするみたいに、強く刺激してあげる。
ん…ああ、すごいわ。こっちの胸も、大きく膨らんじゃって…

あら、胸を揉まれて、おちんちんも勃起しているわね

良く見れば、ガマン汁もお漏らしして…そろそろ頃合いかしら

これからキミの知らない快楽を、たっぷり植えつけてあげる

そのお尻をバツクから貫いて、肛門処女を散らすのよ
さあ、お尻を高く突きだしなさい

【 マリー 】

ん、分かるでしよう？ お尻の窄まりに、亀頭の柔らかな感触が当たつて…
んんう…このまま、入れるわよ、んんんうーっ。
んんッ、凄い…締めつけ。

キミの肛門が、私のおちんちんを激しく感じさせてる…

ん、はあ…肛門処女、なくなつちゃったわねえ…んふふ
このまま直腸の奥まで突いて、感じさせてあげる。

ん…はあ…んう、ふう…あ、んく…ああ、どうかしら、
私のデカおちんちんのお味は。

ふふ、少し下品な言葉、だつたかしら？

でも、今のキミだつて、いやらしい恰好をしているわよ

四つん這いになつて、私の性器を受け入れてる

それも、お尻の穴からね
んつ、あああへ、んんう…はあ、最高よ、キミのアナル
きつい締めつけだけじやなくて、滑らかな直腸の粘膜が、
ペニスに吸いついてくるようで……、んんう、あああ…

んふうう、キミの勃起も、凄いことになつてゐるわね。

お尻の奥、前立腺を突かれるの、そんなに氣に入つたの？

ふふ、そうよねえ、こんな快樂…初めてよねえ

お尻の奥を後ろから何度も犯されて…まるで、セックスしてゐみたい

んんつ、ああ…んんつ、ふううう…つ

ああ…もっと、キミの肛門、激しく苛めてあげる

たくさん出し入れして、直腸の奥も、入り口も、全部感じさせてあげるわ

【 マリー 】

ほら、ほらあッ

お尻を突かれるたび、喘ぎ声が大きくなつてきてるわよ

男の濁った声じやなくて、女の子の高い声…

自分でも分かっているんでしょう？ もうキミは、女の子、なのよ

アナルでメスイキして、ちゃんと自覚しなさい

精液の出ない絶頂で、心まで女に染まるの

ん、ああ…んつ、お尻の締め付け、強くなつて…ん、あ、おつ…はあ…ん…んんう

そろそろ…なのね。良いわよ、ん、はあ…いきなさい

私のおちんちんで、お尻を突き上げた無様な恰好のまま、絶頂しなさいツ
ん、あああッ

んんつ、すゞ…お尻の穴、ぎゅううつて締まつて…はあ、いちやつたわねえ…
今、悲鳴みたいな声、出てたわよ。絶頂した女の子の聲音。

ほらあ、もつと聞かせなさい？ もつとイキなさい？

お尻の穴をいっぽいかき回されて、二度目の絶頂を迎えるのよ。

ん、ああ……っ、はあ……あーあ、またイった、連續で何回もいつちやつて、
プライドも何もあつたものじやないわね。

【 マリー 】

んん？ もしかして、精液、出したいの？

んふふ、許可してあげる

私の手で擦り上げて、精液も吐き出しなさい

んう…おちんちんシコシコ、シコシコ…

んふふ…もう先走り汁で、おちんちんの先、どうどうね

でも、今のキミは女の子になりかけているの

そんな状態で射精なんかしたら、女の子に近づくのが、早まつちやうわよ

だって、精液っていう男の証を、外へ捨てちやうんだもの

このままもつと気持ち良くなつて、精液吐き出したら、私の手にあるおちんちん…

もうなくなつちやうかも

【 マリー 】

ふふ…怖いかしら？ でも、遅かれ早かれ、キミはもうメスになるさだめなの
それが少し早まるくらい、別にいいわよね

どう抵抗しても無駄なんだし…それとも、ここで止める？

無理よねえ…。手の中のあつついおちんちん、もう限界よね
ここでお預けなんて、絶対に堪えられない
そうでしよう？

おちんちん手コキされて、ひいひいよがつちやつて…

そんなキミには、射精と一緒に、私のザーメンを注いであげる
んつ、ああ…アナルの一番奥まで、私の精液で満たされて

ザーメンの熱さが、じんわり広がっていくの
途方もない快楽よ…

んっ、あああ、んっ、くう……そろそろ私も…限界ね
キミのきついアナルで、いつもやうわ…濃いザーメンミルク、一滴残らず出してあげる

全部、受け取りなさい…んっ、あああ、んあ、んんう…つ！

【マリー】

ああ…凄い量の射精ね。

私も、キミも…ザーメンお漏らし、まだ止らない。

ん、ああ…お尻の中、温かいでしょう？

私の精液で満たされて…んっ、ああ…気持ち良いわ

ふう…キミの射精も、ようやく収まったわね

でも、そんなに精子を出しちゃつたら、

おちんちんも、玉袋も…だんだん小さくなつて…

ああ…もう、その時なのね

射精して、勃起したおちんちんが萎んでいく…

でも、ただ小さくなるだけじゃないわ

いつも以上に、どんどん縮んで…いつて…

股間が次第にすつきりして、

アソコがきゅつて締まってくるの、分かるでしよう？

そうしたら、もう最後よ

ペニスが体の奥に裏返しに入つて、

一度と、出てこれなくなる

…ああ、いつ見ても、おちんちんが消えて、女の子になる瞬間は堪らないわね
ゾクゾクしちやう…

聞こえるかしら、おまんこのエッチな音。

キミはもう、女の子になつたのよ。

ほら、おちんちんも、玉袋もないわ。

【 マリー 】

代わりにあるのは、できたばかりのおまんこ。信じられないでしよう。

でも本当なのよ。

私の指先がお尻の穴じゃないところに、潜りこんでいるでしょ。

指先が一本、一本って、入つていくわ。

できただばっかりなのに、ぐしょぐしょに濡れて、

指先を二本もくわえこんじやう、この卑猥なおまんこが、ここに、キミの股の間にできているのよ。

私が指を入れて、教えてあげる。

ほら、股の間がむずむずして、

指先が入つっていくのがわかるでしよう。

さつきいっぽい犯してあげたお尻とは違う、別の場所。キミの雌孔よ

今できただばっかりの女の子の初めてが、

誰も犯していない、バージンがここにあるの。

【 マリー 】

ふふ、体もすっかり女の子ね。

これからはキミのこと、お坊ちやまじやなくて、お嬢さまって、呼ばないといけなくなつてしまつたわ、んふふ。

ね、お嬢様

●第四章 トランス完了～乳首舐めとオナニー絶頂～

【マリー】

自分でもどんな姿に変わったか、見てみたいわよね
いいわよ、この目隠し…外してあげる。

さあ、ベッドから降りて、この鏡を見てみなさい。
その目に映っているのが、現実よ。

んふふふ、つぶらな瞳はそのままだけど、
顎の線がほつそりとして、唇は少し色っぽく膨らんでる。

首や肩幅は狭くなって、腰にはくびれができるわね

乳房もほら、しつかりと膨らんで、
男を誘惑する、いやらしい形よね。

私の時は違つて、今の君は素晴らしい効き目ね。
おちんちんも綺麗になくなつて…

もうキミは、可愛い可愛い女の子。

男を誘惑しなくとも、肌を露出しているだけで、相手が勝手に発情するような、えっちな
体に生まれ変わったのよ。

…そんなにショックだった？

今は嫌がついていても、次第に慣れていくわ。

【マリー】

ほら、乳房もキミに見えるように、両手でしつかりと揉んであげる。

下から上へ持ち上げるようにして、
揉んであげているのが、わかるわよね。

ん…はあ、私ほどではないけれど、綺麗な乳房ね

形だけじゃなくて、おっぱいの感度も、女の子と同じなのよ

今から正面に回って、確かめてあげる

ん、顔を近づけると、甘いミルクの香りがしてくるわね。

【 マリー 】

まずは左から…

んつ、ちゅば、ちゅば、ちゅば シ。

はふう、ちゅば、ちゅば、ちゅば シ。

はあ…キミのおっぱい、美味しいわ。

乳房の根元をぎゅううっと搾りながら、もつと強く… つ

んむう、ちゅば、ちゅば、ちゅば シ。

ちゅば、ちゅば、ちゅば シ。

唾液の音もいっぱい混ぜて、いやらしく吸つてあげる。

ぢゅるるるる シ、ぢゅるるるるる シ。

んぢゅるるるる シ、ぢゅるるるるる シ。

はあ…次は右の胸ね。

気持ちよかつたら、声出していいのよ。

いや、むしろ声を出しなさい。

これは命令。だって、キミが感じてるかどうか、
私が知りたいもの。

んつ、ちゅば、ちゅば、ちゅば シ。
はふう、ちゅば、ちゅば、ちゅば シ。

はあ…キミのいやらしい右の胸、もっといっぱい、吸いたてるわね。

ちゅば、ちゅば、ちゅば シ。

ちゅば、ちゅば、ちゅばッ。

唾液も絡めて、もっといやらしく…
ぢゅるるるるるッ、ぢゅるるるるるるッ。
ぢゅるるるるるッ、ぢゅるるるるるるッ。

…ふう、やつぱりいい声で鳴くじやない。

【マリー】

それに、乳首をこんなに立てて、本当にいやらしいわね
今のは、キミの家族が知つたらどう思うかしら？

…何よ、太腿をもじもじさせて。
もしかして、興奮して濡れてきちゃったの？

んふふ、そうよねえ…キミ、女の子だもの
感じて来たら、おまんこが濡れて…切なく…なつちやうわよね
こういう時、どうすれば良いか、分かるでしょうか？

そう…指を使つて、おまんこを弄るのよ
気持ち良くなりたかつたら、まずは自分でしてみなさい
私に頼らなくとも、一人でできるわよね
だって、自分の身体なんだから
さ、ベッドに座つて…足を広げなさい
私も隣に座つて、キミの恥ずかしいオナニー、見ててあげる

ん…そようよ、そのまま指を近づけて、おまんこの中に入れるの大丈夫、怖いのは最初だけよ…まずは優しく、穴の近くを擦つてみなさい

【マリー】

んふふ、そよう、できるじやない。

キミの指先が、膣の襞々に艶めかしく絡んで…
はあ、エッチなオナニーの音、聞こえているわ

慣れてきたら、もっと奥まで指を入れて、優しくなぞるのよ
同じ方向じゃなくて、色々な角度から擦るの

そうしたら、自分の気持ち良いところが、分かってくるわ

キミのおまんこは、どこが感じるのかしら

入り口に近いところか、それとも奥…もっと深いところか

上か…下か。横かもしれないわね…。

おまんこの中、指を使って、色々確かめてみるの、楽しいでしよう？

指が擦れるたびに、びくびく身体が震えちゃって…

どう？ 浅いところが良いのか、：もっと、もっと…深いところか…

【 マリー 】
ふふ…深いところがいいのね
ああ…でも、まだ怖くて、あんまり強く弄れない…もどかしいわねえ？
おまんこ疼いて…苦しいんでしょ
じやあ、私がオナニー、手伝つてあげる
指…おまんこから抜きなさい

あら…キミの人差し指、愛液でべつとりね…

こんなに発情しちゃって…やらしい子

この感じだと、一本くらい入るかしら…ん

うわ…中はとろとろね

人差し指と中指、二本も奥に入つて…

少し窮屈だけど、気持ちいいわよね

ああ…濡れそぼった膣の感触…とってもエッチよ

出たり入つたりして…おまんこと指が擦れて、奥から愛液が溢れてくる

ふふ…もう誤魔化せないわね…おまんこの中、どこを擦つてもヌルヌルよ

キミが感じている証…

おまんこでオナニー、初めてなのに、もっと擦つて欲しくなっちゃうでしょ

いつの間にか、怖い気持ちはなくなつていて…

今はもう、おまんこくちゅくちゅすることしか考えられない。

もつと擦って、濡れたおまんこを擦って、オナニーだけをしてみたい。
図星よね。

おちんちんシコシコするよりも、こうして穴の中を刺激した方が、よっぽど気持ち良い。

【 マリー 】

おちんちんシコシコよりも、おまんこくちゅくちゅよ…ああ、キミが羨ましいわ
良く言うでしょ…女の方が、エッチは気持ち良いって
おまんこの色んなところを擦るたびに、また違った刺激があつて…
頭の中がふわふわするような、甘い性感でいっぱいになるの
今のキミみたいに、ね

ふふ…もうおちんちんなんて、必要ないわね
たとえ、今のキミにおちんちんが生えたとしても、一生満足できないわよ
だって、この快楽を…女の子の身体を知ってしまったんだもの

キミはオナニーの快感に負けて、女としての悦びに溺れて、
男だった頃の自分を忘れていくのよ…

んふふ…ふふふ

……あ、ここね。お腹側の、少し浅いところ…。

このざらざらした箇所が、キミの一番気持ち良いところ。

…いっぽい、苛めてあげる

んふふ…さつきよりも激しく、おまんこくちゅくちゅ…

エッチな声、我慢できないのね

良いわよ…そのまま喘ぎながら、中イキしなさい

初めての癖に、おまんこ弄られて…淫らに絶頂するの

さあ、ほら…おまんこ気持ち良いの、どんどん膨れ上がっていくわよ

ん…私の指、きゅうつて締め付けて…可愛いわ

快感に身を任せて、そのままイキなさい

ん、ああ…締め付け、強くなつて…ん、はあ…ん、あ…つ

んんっ、すごい…潮噴いちやつたわね…ああ、身体もおまんこも、びくびく震えて…
はあ…キミのイキ顔、絶頂する時の喘ぎ声…とっても乱れていて、興奮…したわ
だから…また私に、見せてちょうだい?

ふふ、んふふ… ツ、女の子はね、連續でいけちやうの

男は普通、一度射精したらお終いだけど…今のキミは女の子
何回も絶頂することができて…それに、（ニ）

小さなおちんちん、クリトリスを優しく擦るとね…ほら、びくつとしたでしょ？
女の子の身体は幸せね…クリトリスは、ただ快感を得るためにあるのよ

つまり、エッチ専用の部分なの

ねえ、クリ擦られると気持ち良いんでしよう？ アソコ、どんなふうに感じるの…？
私に教えなさい…ん？ どうしたの、感じすぎちゃって、もう喋れなくなつたのかしら
え、止めるわけないでしょ

このままクリを弄りながら、連続でいかせてあげる

そんな情けない声で、何がもう止めて、よ

キミは嘘つきね…（ニ）で止めたら、絶対に満足できないわ

ほら…ね

【マリー】

このままで、我慢できる？

身体も…おまんこも疼いて…頭、おかしくなるかもね
ふふ…何？ ちゃんと言葉に出さないと
おまんこ…どうしてほしいのかしら？

はい、良く言えたわね

私の指で、またイキなさい

そう、淫らな声を上げて、おまんこからもいやらしい水音を響かせて
さあ、いきなさい。女の子らしく、全身びくびく震わせて、手マンで潮を噴くの
ん…早く、もう我慢なんていらないわ

押し寄せる快樂に流されて、キミの女の部分、私に見せなさい。さあ、いけ、いくのよ、
おまんこ絶頂しなさいツ

んつ、ああ…おまんこ震えて、エッチなお汁もこんなに…ん、はあ…
キミのイク姿、とつても良かつたわ
ん、ああ…私の指で、あんな可愛い声上げちゃつて…ふふ
ねえ見て。私のモノ、こんなに硬くなつてしまつたわ。

全部、キミのせいよ。最後まで、ちゃんと責任をとつて貰わないとね…

【 マリー 】

言葉の意味、分かるわよね。

私のおちんちんは、キミの処女を欲しがっているのよ。

スカートの上からじやなく、直接、見せてあげるわ
ん…

どう…？ これが私のおちんちん。

おへそに届いちやうくらいそり返って、びくびく震えてる…

んふふ…挿入の前に、まずは奉仕してもらおうかしら

さつき、キミのオナニーを手伝つてあげたでしょ

だから、今度はキミの番。

舌を突きだして、私のおちんちんを舐めるのよ。

へえ…顔を背けるのね。

女の快樂を味わつても、おちんちんには抵抗がある…まあ、当たり前よね
けれど、キミはもう女の子。外見だけじゃないわ、その心もとっくに染まつているのよ
信じられないって顔ね。でも、本当よ。

こうやって、顔の前におちんちんを突き出せば…どうかしら？

顔を背けていても、分かるでしょ：私のおちんちんから漂う、この蒸れた匂い

鼻の奥にむわっと入つて来て、たとえ口で息をしていても…無意識のうちに、欲しくなる

…ふふ、気付いたようね。キミ、汗…かいているわよ

息も荒くなつて…おちんちんの匂い、くんくん嗅いぢやつているわね

どう…？ 頭…クラクラしてこない？

くく…堪らないでしよう？ この匂いはね、女を惹きつけるのよ

身体も、心もね。そうして、いつの間にか、だんだん顔が近づいてくる

勃起したおちんちんを、うつとり見つめているうちに、口の端から涎が垂れて…

唇が、徐々に開いてくる。オスの性臭に、胸がドキドキ高鳴つて…

いつしか、下の口からも蜜が溢れて…そうなつたら、ほら

んんっ、おちんちん、深く咥え込んじゃつたわねえ…

おまんこからおねだり汁をお漏らしながら、淫らにフェラチオなんて…ああ、

堕ちるところまで堕ちたわね、キミも。

ん、そうよ…中々上手いじゃない

キミの口の中、涎で溢れて…ああ、この小さい舌の感触も、気持ち良いわんつ、あ、んう…この口、性欲処理にはぴったりね

んあつ、ああ…あ、くう…もつと奥まで、入れると…んあつ、はあ…喉もぎゅうぎゅう締まって、良いわ…んつ、あつ、ああ…

苦しいでしょ？ 目に涙が浮かんで…でもキミ、笑っているわよ？

顔がだらしく蕩けて、おちんちんを奉仕できる悦びに感じ入っているのもう本物の女の子よ、誇って良いわ…ん、ああ…

これからキミは、その身体で男に奉仕していくの

そういう人生を歩んでいくのよ…ん、あつ、ああ…つく、あつ、んうつキミも気持ち良くなれて、私も気持ち良くなれる。ああ…フェラチオって…最高ね

女を支配している感じがして、んつ、あつ、んく、あつ

我慢汁まで、吸われてる…んう

はあ、んつ、ああ…つ、まったく、なんていやらしい口なの…んく、はあ…はあ…このまま射精してしまうのは勿体無いわね

ん、ああ…

精液を注ぐのは、こっちの口が良いわ

キミの素敵なバージン、このふたりおちんちんで奪つてあげる

【 マリー 】

さあ、おまんこを私のほうに向けなさい。
ベッドに寝て、太腿をだらしなく開くの。

んふふ…そうよ、良い子ね。

まだ処女なのに、ニスを欲しがって、入り口のひだひだがヒクついてる。

愛液もたっぷり垂らして、はしたない…。

こんな淫乱に、処女膜は似合わないわ。おちんちんで貫いて、無残に破り捨ててあげる。

…ん、ああ…！

少しずつ、おちんちんが入っていくのがわかるでしょ。
キミの中を犯しているのよ。

ひだひだがいやらしく絡みついてきて、

ああ…つ、

この締めつけは、確かに処女のおまんこよね。

狭くて、ゴムみたいに弾力のある膜が、おちんちんを押し返してくる…ん、あ、くう…でも、力を込めておちんちんを突き込むと、ふふ、膜が広がってペニスを受け入れていくわ

このまま、一気に奥まで…ん、

【 マリー 】

ああ…ン、奥まで入つちゃったわね。

キミはふたなりおちんちんに、処女喪失されたのよ。ふふ、素敵な思い出ができたわね。このまま犯し抜いて、中出ししてあげる。

ん、ほらあ…つ。これが、セックスよ。

中で動いてるの、感じるでしょ。

これが、私のおちんちん。お尻の穴で交尾するよりも、気持ち良いでしょ？ ゴツゴツして、長さもあるのよ…ん、ああ…

ふふ、苦しそうね。お腹の中に、異物が入っているんだもの…

内側から圧迫され、痛いわよね。

でも、それだけじゃないわ。

身体の内側を擦られているからこそ、直接…快感を得られるのよ
私が腰を突き出すたびに、少しづつ…気持ち良くなっていくわ

性の刺激と…女にしかない快感が湧いて…ん、ああ…

んあ…、あ、ああ…

ほんと、セックスって素敵ね

きつく締め付けられても、痛みなんて感じないし

何より、女を犯しているのが良いわ

自分が上に立ったこの感覚…ああ、腰の動き、止まらない…

ん…、あん…、んあ…、ああ…

でも、キミだって悦んでいるんでしょ？

女にしか味わえない、犯されている快感…私とは別のものよ

こうやつて、強く腰を突き出して、奥まで抉ると…どうかしらつ

深いところ、おちんちん搔き回されて…

何の抵抗もできないまま、一方的に責められるこの感覚

キミみたいな女ってね、マゾな部分があるのよ。

だから、自分が犯されているって思うと、ゾクゾクするでしょ？

おちんちんで突かれる度に、ああ、自分は女の子なんだっていう思いが、

どんどん膨らんでいく

…分かるわよね？ あなたはもう、女の子なのよ

おちんちんを何度も打ち付けられて、心の奥底では悦んでいるの
ねえそろでしよう？ 可愛い顔して、マジの変態なのよねえ？

んふふ、愛液溢れてるじやない。膣の中こんなに濡らして…やっぱり感じていたのね
さつきまで処女だつた癖に、本当に変態ね、あなた

こんなに淫乱だと、誰のおちんちんでも悦んじやうんでしょうね
ん、ほら… ツ、自分を女に変えた、憎い私にさえ欲情しちやつてる

節操のないおまんこね… ツ、男を射精させるための穴なんだから、もつと締め付けないと
…んつ、ああ… ツ

んあ、あん、ああ… そう、良い感じよ、はあ… んぐ、ああ… ツ

気持ち良いわ、おちんちん融けちやいそう… んつ、くつ、はあ… ツ、ああ… つ
このまま激しくして、奥に… 射精するわよ

キミも女の悦びを感じながら、はしたなく絶頂しなさい
ほら、ほらあっ！

気持ち良いんでしょ？ 抑えてないで、もつと良い声で鳴くのよ

動物みたいに本能のまま、快感で身体が震えるように、
感じて愛液が滲むように、感情に従つて声を上げるの

そう、そう、よお… んあ… んく、あああ… はあ… ツ

とつてもいやらしくて、可愛い声ね…

んつ… さあ、受け取りなさい… ツ

濃厚なザーメン、おまんこの奥に、たっぷり吐き出してあげる

ん、ああ… キミはおちんちんにいかされて、その心まで私に穢されるのよ

んつふふ、楽しみねえ… んつ、ああ… あつあ… んく、ああ… ！

おまんこ気持ち良い… いく、いつちやうわ… ツ、中出し未経験のおまんこに、今から射
精するのよ… んつ、あ… あ… んあ… あ… あー… いく、いくいくいく… ツ、んあ… ！

【 マリー 】

ああああ… はあ… ああ… つ！

射精… してるわよ… ツ、精液まだ出で… んつ、あ… ツ

膣の奥も、子宮も… 私の体液でいっぱいね。こんなに出しちやつたら…

キミ… ふたなりザーメンで、妊娠しちやうかも。ふふ。

処女膜を失つて、濃厚な精液も種付けされて… 散々ね。

今のキミは、お嬢様でも、ましてやお坊ちやまでもないの。

ただの性奴隸よ。もう、そこまで墜ちちやつたの。

キミの身体に鎖はないけど、一生… 自由には生きていけない。おちんちんの快樂…
憶えちやつたもの

これから的人生、私がたくさん…擦り切れるまで使つてあげるわね
ふふ…まずは、その身体を綺麗にして…

キミに似合う、可愛い服をあげるわ

だつて今日は…可愛いキミの、生まれた日。生まれ変わった、記念の日。

…まだ言つていなかつたわね。…お誕生日、おめでとう

【 マリー 】

私からのプレゼント…有難く受け取りなさい
ふふ…んふふふ…。